大阪府阪南市 産業振興と魅力発信事業について

■内容：阪南市の地域活性化に向けて、和歌山大学観光学部生と協業しながら阪南市の魅力的なスポットの炙り出しを行い、SASSYアプリで「まとめマップ」や「デジタルしおり」を作成・PRする。

■特徴：若者目線で地域の強みや資源を活かしたデジタルコンテンツが生まれ、阪南エリアの回遊性向上と誘客に貢献する。また、阪南市民のシビックプライド向上も同時に実現する。

まとめマップ（例）

和歌山大学 観光学部 Faculty of Tourism

※学生はイメージです

SASSY

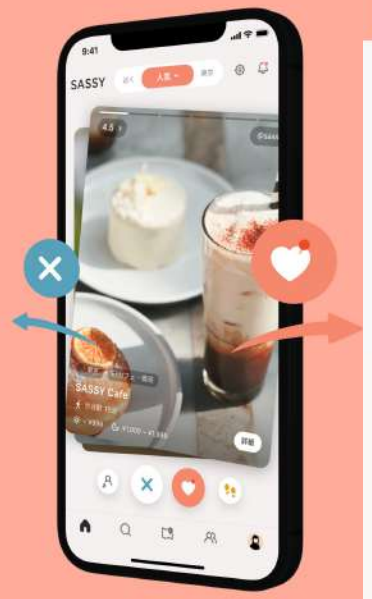
App Store からダウンロード

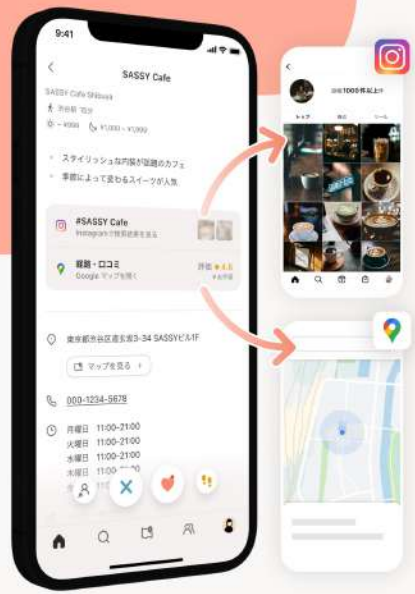
Google Play で手に入れよう

「今からどこ行く？」がすぐ決まる
観光・飲食スーパーアプリ（日本語 / 英語）

直感だけで素敵スポットが見つかる

「あ、行きたい！」に
一瞬で出会える





「調べ直し」の手間がない

必要な情報が１つに集結

すぐ決められる「イマ」ハシゴできるカフェ

SNSから厳選したスポットが
マップから探せる

友だちや恋人と「行きたい」をマッチング

2人が満足する場所が瞬間的にわかる

シンプルで見やすい旅のしおり

行きたいスポットを巡る
しおりが作れる

「気になる」が集まるまとめマップ

テーマごとのおすすめスポットが
マップで見れる

取組事例（大学）

SASSY

2022年6～11月

桜美林大学
J. F. Oberlin University

2022年6月～

近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM

産学連携取組
「近大通り飲食店プロジェクト」

2023年4月～

大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

・二宮ゼミsassyチーム
・大学周辺エリア活性化

別府大学

・小野ゼミsassyチーム
・別府エリア活性化マップ

静岡県公立大学法人
静岡県立大学
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

・大久保ゼミsassyチーム
・静岡エリア活性化マップ

APU
Shape your world
Ritsumeikan Asia Pacific University

・大学周辺エリア活性化
・留学生向けデジタルマップ

取組事例（商店街×大学）

2023年6月24日　夕刊1面に当社が掲載

日本経済新聞　土曜版　NIKKEI 夕刊　2023年（令和5年）6月24日 土

スタートアップと集客策

商店街アプリ 人つなぐ

名古屋 デジタル福引で販促　東大阪 近畿大と連携

全国の商店街でスタートアップと協力し、デジタル技術を使った新しい集客策に活路を見いだす動きがでてきた。大型商業施設との競争や新型コロナウイルス禍で商店街のにぎわいが失われる中、「デジタル福引」などの販促作戦で、若年層の客を呼び込む狙いだ。

JR名古屋駅にほど近い円頓寺商店街、17世紀初頭の名古屋城築城と共にできたとされる、喫茶「なごや」を訪れた30代の女性はスマートフォン片手に休憩をすませた。「桜味のクリームソーダなど季節限定メニュー情報が届く、割引クーポンも使用」と話す。

利用したのはスタートアップのトイボ（福岡市）のアプリ。沖縄料理店など商店街の約30店舗共通の来店ポイントをためてクーポンに交換できるほか、個別店舗からお薦め情報が届く、持ち帰りを予約できる、円頓寺商店街は2022年末にサービスを導入、約300人が利用する。7月下旬のレジ祭りに向け、販促メニューを考案する。

惣菜屋2代目の田尾大介さんはJR西日本の管轄部門や米国留学を経て40代で老舗商店街の理事長に就いた。「デジタルサービスで若い世代を取り込みたい。アンケートで顧客属性を知り、個人に最適な販促策を打つ。来店頻度を高めれば効果も一目瞭然だ」と話す。

ソフト開発のバー（名古屋市）とともに、ウェブ上のデジタル福引「円頓寺ガチャ」も開発中だ。スマホ画面上の福引券を指で回し、デジタル商品券が当たる。店で「定額の買い物をすれば、くじ引き券をあたる」QRコードが渡される。

中小企業庁の調査（21年、全国5千以上の商店街が回答）で、客が「減った」としたのは68・8%と3年前に比べ約14ポイント増えた。コロナ禍の影響もあるが、7割が経営者の高齢化による後継者問題をあげるなど、構造的な問題で「シャッター通り」に化す例も少なくない。にぎわいを取り戻す手段としてデジタルサービスへの期待は高い。

30・40代多く利用

松山市中心部の3つの商店街からなる松山中央商店街ではスマホ決済やデジタル商品券が一体となったアプリ「まちペイ」が普及する。地域で使える商品券が当たる抽選会やポイント還元などの販促施策が売りで、4万人がダウンロードしている。バーを営む河野有紀さんは「キャンペーン中は『もう1軒行こうや』という人が多い」と話す。

河野さんの店では、キャンペーン期間中のキャッシュレス決済に占めるまちペイ利用率は約5割で、利用は30～40代の客が中心だ。加盟店も検索でき、新規顧客の流入にも一役買う。

まちペイを企画した街おこし会社、まちづくり松山（松山市）の田口慎太郎社長は証券会社勤務を経て実家の洋品店を継いだ。商店街にカメラを設置し、時間帯別の客の年齢・性別を分析、電子看板の顔認識広告表示にもつなげる。空き店舗と新規出店希望者をつなぐサービスもアプリで開始し、約30店舗が登録する。

一定条件で無料

「割引、めっちゃ助かるわー」。近畿大学（大阪府東大阪市）4年生の大谷瑞尚さんは大学前の商店街のラーメン店で学生が喜ぶ所に遭遇した。大谷さんが所属するゼミは22年12月から23年2月までアプリ開発のリリオントリップ（大阪市）と商店街活性化に取り組んだ。

10～20代の若者を中心に17万人がダウンロードする同社のアプリ「サッシー」を使う。限定の人数で訪れれば店指定の1品が無料になるサービスを商店街の飲食店30店が実施した。同社は「多くの人にサービスを知ってもらえる」と無料でアプリを提供、大学・地元商店街と連携した。

アプリの利用回数から推計できる利用者は3カ月で400人にのぼり、予想を超える好評ぶりだった。6月26日からは飲食以外も含め最大70店に対象を広げる。文具店が2割引き、ジムの会費が半額などになる。「学生が減る夏休みこそ商店街を活性化させたいとの要望があった」（3年生の山本尚登さん）ため9月まで実施予定だ。

リリオントリップは横浜市の日吉商店街でも、秋までに飲食店等を紹介する地図をアプリ内で公開予定。商店街組合で導入を担当する山響薬品店の山本香子さんは地図が無く、近くで食事をしたいと問われても伝えづらかった」と話す。

山本さんは「商店街組合に加盟しない店もある。アプリを機に店同士の関係を深めたい」と話す。商店街の課題に取り組むスタートアップの技術は、商店と客だけでなく、きずなが薄れかけた街の人もつなぐ。

（安西明秀、雪野栄平、田畑隆）

アプリに登録すると来店でポイントがたまる（名古屋市の円頓寺商店街）

横浜市の日吉商店街でアプリの導入を担当する山響薬品店の山本香子さん

近大生と商店街活性化

リリオントリップ
RelyonTrip

会社名　株式会社RelyonTrip
所在地　大阪府大阪市淀川区塚本2-26-10
代表者　代表取締役 西村 彰仁
設立日　令和元年（2019年）10月1日
資本金　7,000,000円

ミッション
出かける、つながるで幸せに。

沿革

2019.10	当社設立
2020.2	SASSYリリース（iOS版）
2020.3	新型コロナ緊急事態宣言
2021.4	資金調達（シード、J-KISS）
2022.12	未来の市場をつくる100社選出
2023.7	SASSY多言語対応（英語版）
2023.?	資金調達（プレシリーズA）予定

採択・受賞歴等

東京都主催ASACアクセラプログラム第10期採択(2020年6月)

NTTドコモベンチャーズ主催START UP STUDIO第3期採択(2020年7月)

東京都主催TCICアクセラレーションプログラム2020採択(2020年9月)

X-Tech Innovation2020ファイナル出場、協賛企業賞受賞(2020年12月)

OKINAWA STARTUP PROGRAM 2020-2021採択(2020年12月)

和歌山県知事認定「令和3年度認定創業者」(2021年11月)

内閣府の地方創生SDGs官民連携プラットフォーム参画(2021年11月)

500主催Founder Academy採択(22カ国50社) (2021年11月)

AWS(Amazon)主催 StartupRamp 1stBatch採択 (2022年5月)

スタートアップ・イニシャルプログラムOSAKA採択(2022年6月)

WEB3新サービス開発プログラム「SUITCH」採択(2022年8月)

松竹Accelerator2022「Entertainment Festival」採択(2022年9月)

大阪府 第17回ビジネスプランコンテスト準優勝（2022年12月）

スタートアップ・イニシャルプログラムOSAKA優秀賞受賞(2023年1月)

第3回「阪急阪神不動産 事業共創AWARD」JSSA賞＋オーディエンス賞受賞(2023年3月)

出演・登壇・メディア掲載等

J-WAVE出演「Withコロナ時代の新しい旅を見つけよう」(2020年7月)

日経BP取材[ポストコロナをドライブする4社に話を聞いた](2020年8月)

テレビ東京「田村淳が池袋Innovation Council」に出演（2021年7月,8月）

J-WAVEラジオ生対談「Sassyが実現するwithコロナ時代のおでかけにインサイトby別所哲也」(2020年9月)

読売新聞朝刊掲載(全国紙)(2021年7月)

小学館DIME掲載(2021年12月)

京王電鉄株式会社が提供する京王アプリと連携(2022年3月)

KDDI∞Labo主催 大企業＆東大ピッチイベント登壇(2022年5月)

近畿大学経営学部ゼミ講義登壇(2022年6月)

サイバーエージェントキャピタル主催Monthly Pitch登壇 (2022年8月)

デロイトトーマツ、野村證券主催Morning Pitch登壇 (2022年9月)

日経クロストレンド「未来の市場をつくる有望企業100社」選出(2022年12月)

ナゴヤイノベーターズガレージ主催CENT Pitch登壇（2022年12月）

近畿大学 産学連携「近大通り飲食店売上倍増プロジェクト」(2022年12月)

日経トレンディ「未来の市場をつくる100社」掲載(2023年11月)

テレビ東京・LtG StartupStudio主催SHOGUN PITCH登壇 (2023年3月)